

designのまなび実験室 学ラボ

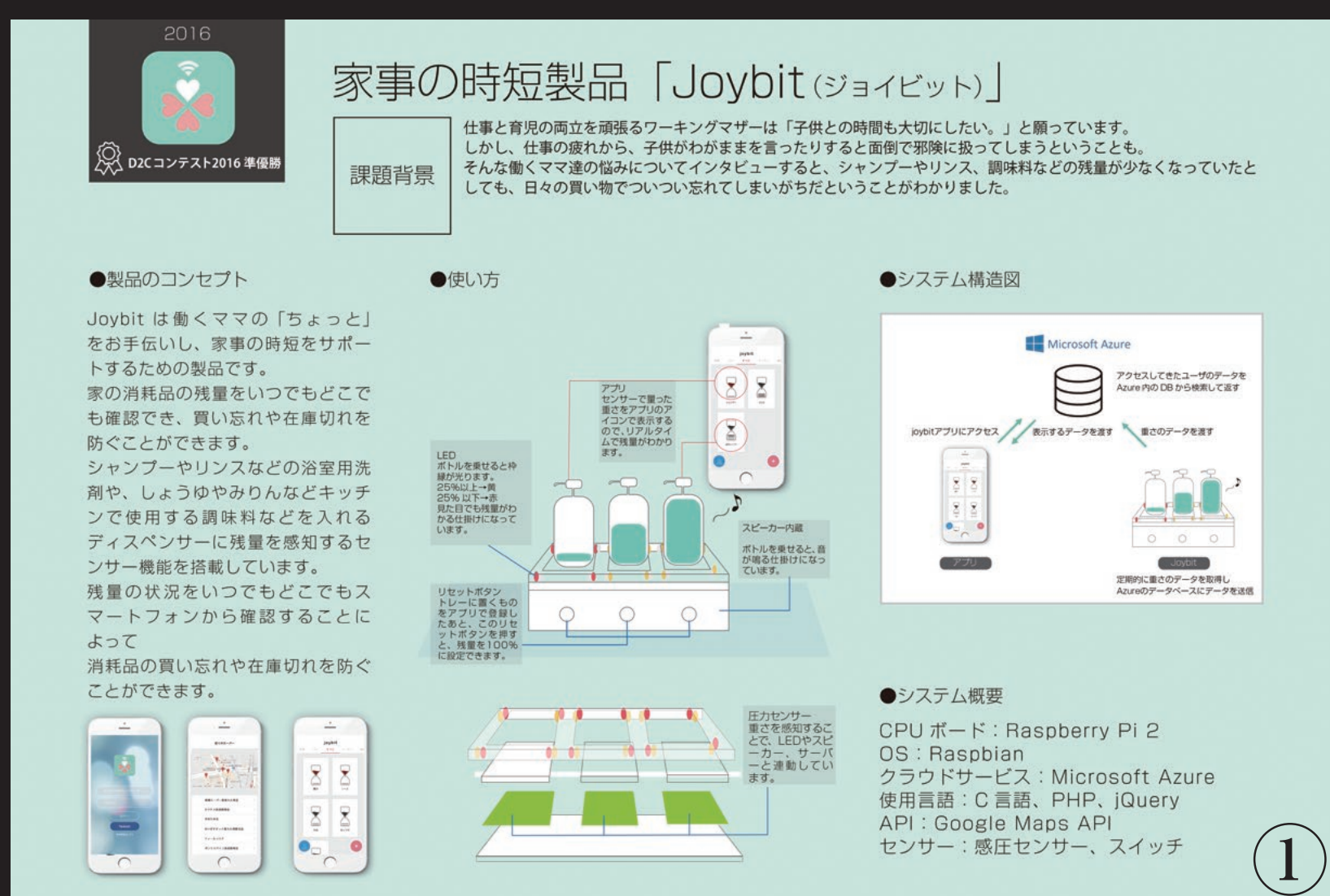
学 科 電子応用工学科、情報処理科、Webデザイン科、**カテゴリ** 学科横断取組み
グラフィックデザイン科、CG映像制作科

「学ラボ」は、共創による新しいものづくりをしたい学生たちが学科の垣根を越えてチームとなり、教員や協働企業からの助言を得ながら、「ともに学び、ともにつくる」プロジェクトである。

本プロジェクトは、人や社会が抱える課題をIoTで解決することをテーマにしており、シャンプーや調味料の残量を計測し、補充必要時にアプリで知らせるシステム（写真①）や、看護師が入院患者の食事トレイを装置に乗せると、残食状況を画像データで記録できるシステムなど、それぞれの専門知識と技術を共有しながら（写真②）、共創により様々なアイデアを形にしてきた。

チームは、デザイン思考を取り入れ、ユーザへのインタビューから得られた共感や発見をもとに、問題定義の詳細化を行い、ブレインストーミングやラフスケッチ等を通して、アイデアを探求。さらにそのアイデアが社会で役立つ機能が備わっているのかテストを行いながら、システム完成へと向かう一連の流れを実践した。また、協働企業によるアドバイスを随所で受けることで、実際の開発現場に即した広い視野や知識を、学生は得ることができた。

こうして学ラボで誕生した製品は、「D2Cコンテスト2016 準優勝」「D2Cコンテスト2017 優勝」など高い評価を獲得している。



家の消耗品の残量をいつでもどこでもスマートフォンから確認でき、買い忘れや在庫切れを防ぐことができる

春山記念病院の看護師と協同で製品開発に取り組む様子